

松本平タウン情報社と信州大学全学教育機構との連携に関する覚書

1 目的

松本平タウン情報（以下「甲」という。）と信州大学全学教育機構（以下「乙」という。）は、相互に連携を深め、甲の社会的貢献による発展と乙の教育研究の充実を図るため、次のとおり覚書を取り交わすものとする。

2 連携事項

- (1) 甲及び乙は、授業題目「新聞をつくろう」の授業（以下「連携授業」という。）を開設する。
- (2) 甲は乙に対して連携授業に関する講義の実施などを通して、広く学修する機会を提供し、乙は甲に対して連携授業の場や教育研究の成果を提供する。

3 費用負担

甲は、連携授業に係る講義のための人材派遣に必要な費用を負担するものとする。乙は、連携授業の講義室の確保及びその運営に必要な費用を負担するものとする。この覚書に定めのない経費に関する事項は、甲、乙の協議により取り決めるものとする。

4 秘密等の保持

甲及び乙は、連携事項の実施により知り得た個人情報を相手の事前の承諾なく第三者に提供、若しくは漏洩し、又は第1に規定する目的以外の目的に利用してはならない。ただし、法令に基づき司法又は行政機関の強制力ある命令等により当該情報の開示を求められる場合は、この限りではない。

5 有効期間


この覚書は平成21年10月1日から発効し、有効期間は3年とする。ただしその間の連携・協力内容の評価を行い、甲、乙両者の合意により更新することができる。

この覚書は2通作成し、甲と乙が各1通保有するものとする。

平成21年9月25日

(甲) 松本市宮田2-10
松本平タウン情報社
常務取締役

(乙) 松本市旭3丁目1番1号
信州大学全学教育機構長

飯田 正存 

矢部 正之



(案)

授業題名 「新聞をつくろう！—タウン情報制作ゼミ」(松本平タウン情報寄付講義)

英文授業名 「Let's create the newspaper!」

(1) 授業のねらい

『松本平タウン情報』は、松本、安曇野、塩尻、大町市など中信地方で14万8000部を発行するタブロイド判12—24ページの地域情報紙です。毎週3回発行され、信濃毎日新聞の朝刊に折り込まれるフリーペーパーです。この講義は、松本平タウン情報の紙面を学生自身がつくり、広く情報を発信します。地域の「今」をクリエイティブに読者に伝えます。

講義や実際の取材活動を通して「地域におけるメディアとは何か」を学び、その過程でわかりやすい文章の書き方、コミュニケーションの方法などを身につけることを目的とします。

(2) 授業の概要

①理論編(1—4回) 毎回タウン情報からゲストスピーカーを招き、メディアのあり方、取材の仕方、写真の撮り方、新聞の組み方(レイアウト)などを講義。

②実践編(5—15回) 3、4人の班に分かれ、班ごとに興味のあるテーマを決め取材、執筆活動をし、タウン情報に特集記事を載せる。執筆した原稿も随時紙面に掲載する予定。

(3) 授業計画 (1) オリエンテーション (飯田編集長) (2) 新聞記者の仕事 (山田副編集長) (3) 地域情報紙の役割 (飯田編集長) (4) 新聞のできるまで (飯田編集長) (5) 報道一線。取材の仕方、原稿の書き方を学ぶ (山田副編集長) (6) 原稿の講評 (山田副編集長) (7) 報道写真の撮り方 (丸山カメラマン) (8) 取材テーマ、取材計画を練る (各担当デスク) (9) 取材活動 報告発表 (各担当デスク) (10) 取材活動 報告発表 (各担当デスク) (11) 取材活動 原稿完成 (各担当デスク) (12) レイアウトの仕方を学ぶ (飯田編集長、整理部) (13) レイアウトを考える (飯田編集長、整理部) (14) レイアウトを考える (飯田編集長、整理部) (15) 実際の紙面から、反省点などを話し合う 希望者に対し、編集システムによる紙面作成(当社)、紙面印刷の見学会を行う(信毎塩尻制作センター)。内容及び担当者は変更することもある。

(4) 成績評価の方法 期末試験は行わない。出席状況、授業への取り組み、記事の出来などで総合的に評価する。4回以上欠席した場合は単位が認定されないので注意すること。

(5) 履修上の注意 何を読者に伝えたいか、問題意識と知的好奇心を持って受講してほしい。多数の受講希望者がいた場合は受講制限を行う。

(6) 質問、相談への対応 講義終了後質問、相談を受け付ける。

【授業で得られる「学位授与の方針」要素】 情報収集力、情報利用力、文章力、コミュニケーション能力、チームワーク力

【教科書】 特になし。必要に応じてプリントを配布する。

【参考書】 猪股征一『実践的新聞ジャーナリズム入門』(岩波書店、2006年)

平成21年9月28日

産学官地域連携課課長補佐 殿

学務課長

田屋 幸太郎 (公印省略)

松本平タウン情報社と信州大学全学教育機構との連携に関する覚書の締結について (報告)

このことについて、別紙のとおり締結いたしましたので報告いたします。